



# ひろば



マリーゴールド

令和6年11月29日発行

## 地域と共に！学習発表会・運動会開催



校長 山美奈子

体育館いっぱい響き渡る三味線とチジンが奏でる軽快な調べ。子どもたちと地域の方々が一体となって六調を楽しむ姿。学習発表会のフィナーレは地域とともに歩む住用小の姿がありました。11月9日(土)、住用へき地保育所・住用小学校・住用中学校合同学習発表会を実施しました。集落放送での呼びかけや隣近所で声を掛け合って、予想を上回るほど多くの方々がお越しくださいました。本校の子どもたちはオープニングのチアダンスを皮切りに、インドネシアの楽器アングルンによる合奏、シマ唄にエイサー、そして保護活動を行っているリュウキュウアユの一生を劇で表現し、竿踊りも力強く披露しました。子どもたちは、この日のために、何時間も練習を重ねてきました。合奏の練習、劇のセリフ覚え、方言で歌うシマ唄や竿踊りの唄の練習に、チアダンスやエイサー、竿踊りにも果敢に挑戦。小規模校ならではの出番の多さですが、裏を返せば一人一人が輝く場面が多いということでもあります。練習を重ね、本番でやり遂げ、大きな声援と拍手に包まれて、子どもたちは達成感に満ちていました。

さらに、11月24日(日)には合同運動会を開催しました。熱中症のリスクを減らすために時期を大幅に変更しての実施になりましたが、爽やかな秋の青空の広がる中、地域の方も多く参加して盛大に行うことができました。保育園児のかわいらしいダンスや小学生のエイサー、迫力ある応援演舞、リレーや綱引きの他、親子競技や地域種目も会場を盛り上げてくれました。会場には多くの観客の皆さんが集まり、競技や演技をしている子どもたちの顔も終始にこやかでした。今年は、西仲間集落の皆さんを中心に八月踊りを踊りました。チジンとシマ唄が響く中、児童や保護者、地域の方が大きな輪を作って踊り心が一つになりました。

学習発表会や運動会の成功は地域の方のご指導とご協力の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。シマ唄は橋本和昌さん、アングルン指導は里山喜久乃先生、八月踊りは西仲間集落の皆さん、竿踊りは重田大介さん、チアダンスは和田良子さん、エイサーは前田弘江さんと、それぞれ丁寧で心のこもったご指導をいただきました。また、本番では澤修平さんがハト吹きで会場を盛り上げてくださいました。ご来場の皆様からも、温かい感想や今後に向けてのご意見等もいただきました。心より感謝申し上げます。来年は更に内容や取組を充実させ、地域の皆様に子どもたちの頑張っている姿をお届けしたいと思います。ありがとうございました。

くうらん  
空欄はゼロではなくて無限だよ  
やりたい仕事 なりたいたい自分  
むげん  
億 万智

私は小学生の頃から「学校の先生」になりたいと思っていました。「将来の夢は？」と聞かれたら迷うことなく「先生」と答えていた。シマで生まれ育った私の周りには多くの選択肢もなく、今のようにSNSもない時代はどのような仕事があるかなどと知るすべもほとんどなかった。夢を抱きはじめた五十年近く経つが、この仕事について後悔したことは一度もない。後悔はないが、もし他の仕事に就いて別の生き方をしていたらどうなっていたらどうか、と思うことはある。

文頭の短歌は、息子の進路調査のときに詠まれたもの。やりたい仕事かわからない、将来どのように生きていくのか想像がつかない。真剣に自分の将来を考えるからこそ、空欄になってしまいう調査票。途方に暮れる息子へ、母である作者は「焦らなくていいんだよ、あなたの可能性はゼロではなく無限なのだから」と優しく寄り添いエールを送る。

これまでの教師生活において、進路選択の面で迷う生徒たちを何人も見てきた。決して考えていないわけではなく、自分に合う仕事かわからないとか、好きなことがわからないという。現在の世の中は多くの情報であふれ、憧れと不安が混じって決められない子も多いと思う。そのような子どもたちを我々大人はルールを敷くのではなく、自分で自分の進む道を切り拓いていけるように寄り添って支えることが大切である。

十二月六日、本校の卒業生でANAホールディングスの代表取締役の芝田浩二さんをお迎えしてお話をさせていただく。島で生まれ育ち、郷里を大切に思いながら世界的に活躍されている芝田さんのお話から得るものは大きいと心が弾む。

## ようこそ住用小学校へ



11月1日(金)~7日(木)は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間で、この前後で多くの方々が来校してくださいました。1日(金)は、全クラスで一斉に道徳の授業を行いました。また、学校評議員と民生委員を対象とした「給食試食会」を実施しました。子どもたちと食べる久しぶりの給食に、参加者からは、「味付けを真似してみたい。」「家では残すものでもみんなと一緒に食べていて驚いた。」等の感想をいただきました。6日(水)はシマ唄活動。学習発表会に向けリハーサルをしました。9日(土)の学習発表会では、会場は満席で、子どもたちの発表は多くの拍手で包まれました。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

## 学力向上を目指して



11月18日(月)は、奄美市教育委員会の指導主事と住用中学校の教職員が参加し、5年生国語の研究授業を行いました。授業では、課題について考えたり、話し合ったり、発表したり生き生きと授業に臨んでいました。これからもよりよい教育を目指し取り組んでいきます。

## Trick or treat



11月7日(木)は、ALTのセイダ先生とハロウィンにまつわる言葉を使って、かるたやビンゴゲームをしました。子どもたちは、仮装やゲームを楽しみながら、色・食べ物・生き物について学習することができました。

## 保・小・中合同運動会



11月24日(日)は、奄美市立住用へき地保育所・住用小学校・住用中学校合同での運動会を実施しました。この日に向け、PTA奉仕作業でテント設営やグラウンド整備を、子どもたちは朝のボランティア活動でグラウンドの草取り等も行ってきました。運動会当日、児童は「短距離走」「親子競技」「綱引き」「玉入れ」「八月踊り」「エイサー」「全員リレー」の8種目に出場しました。気持ち良い青空の下、みんな一生懸命に競技・演技をすることができました。閉会式後は、地域の方々もテントや机・イスの片付けなどを最後までご協力くださいました。皆さんに見守り支えられ、学校・家庭・地域が一体となったいい運動会ができました。ありがとうございました。

## わくわく読み聞かせ



11月18日(月)、保護者2名による読み聞かせがありました。子どもたちは、前のめりになり聞き入っていました。読み聞かせの後は、一人一人自分なりに感じたことを発表しました。子どもたちにとって貴重な時間になりました。和田さん、田畑さん、ありがとうございました。

## 市音楽発表会



11月13日(水)は、奄美市小・中学校音楽発表会がありました。演目は、昨年度に引き続き「エイサー(あしびな)」です。場数を踏む度に元気よく、そして自信に満ちた堂々とした発表ができました。

